

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～英語～

| 調査項目 | 着眼点 | 調査内容 | 「調査項目」、「着眼点」の根拠 |
|--|--|--|--|
| 1 学習指導要領 (平成29年告示) | (1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の数及び取り扱う言語材料（文法、文構造）の数はどの程度か。 5領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動はどの程度位置付けられているか。 全国学力・学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題の取扱いはどのようであるか。 | <p>「調査項目」、「着眼点」の根拠</p> <p>(1)中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養</p> <p>(2)中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること</p> <p>(3)中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること</p> |
| | (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 | <ul style="list-style-type: none"> 小学校との接続にはどのような特徴があるか。 社会的な話題（社会で起こっている出来事や問題に関わる話題）をどの程度扱っているか。 | |
| | (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 | <ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等を育成するためのコミュニケーションを行う目的や場面、状況等の設定にはどのような特徴があるか。 | |
| 2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度] | (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の考えや気持ちを表現できるようにするために、どのような特徴があるか。 協働的な学びを充実させるために、小集団学習の設定にどのような特徴があるか。 | <p>第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） 施策Ⅱ「未来を創る確かな学力と実践力」の育成</p> <p>(1)Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26）</p> <p>(2)Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26）</p> <p>(3)Ⅱ-9 ICTを利活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）</p> |
| | (2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の成長や学習したことの意義・価値を実感したり、今後の学習に目標や課題をもって進めたりするために、学習到達目標の掲載には、どのような特徴があるか。 振り返りの場面はどの程度、位置付けられているか。 | |
| | (3) ICTを活用した学習活動 | <ul style="list-style-type: none"> 効果的に学習を進めるための二次元コードは、いくつ掲載されているか。 学習者用デジタル教科書には、どのような特徴があるか。 | |
| 3 印刷・製本等 | (1) 教科書の厚み、重量 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさ、重量、厚さ、総ページ数はどのようであるか。 | |
| | (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 | <ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず、生徒に読みやすいものになっているか。 | |
| | (3) 上記以外の使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が学習する際に活用できる巻末資料等の分量や内容には、どのような特徴があるか。 | |